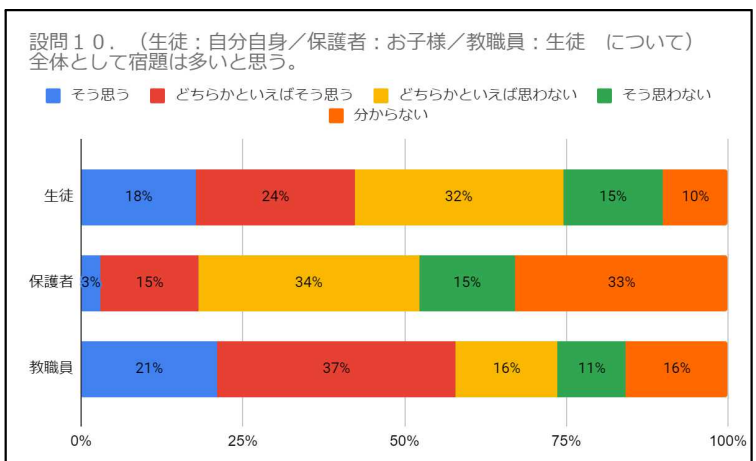
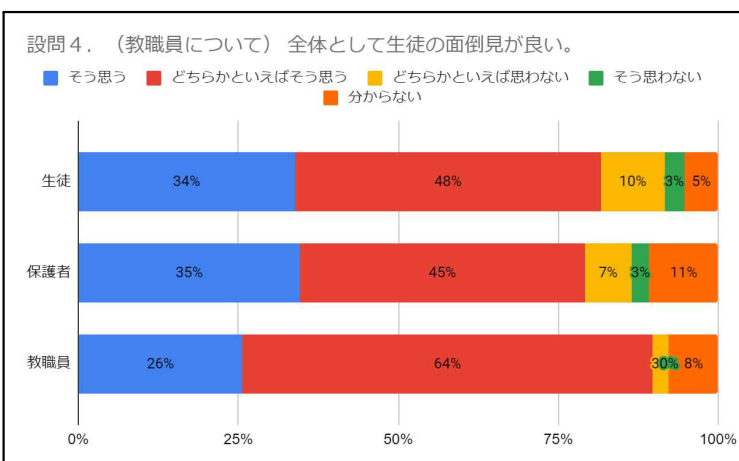
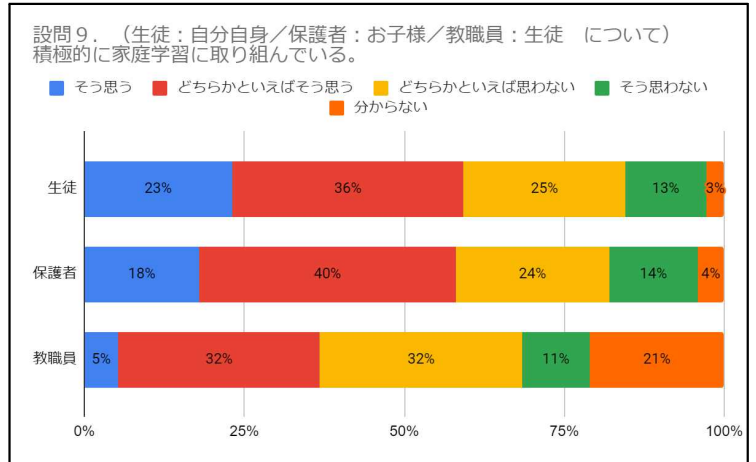
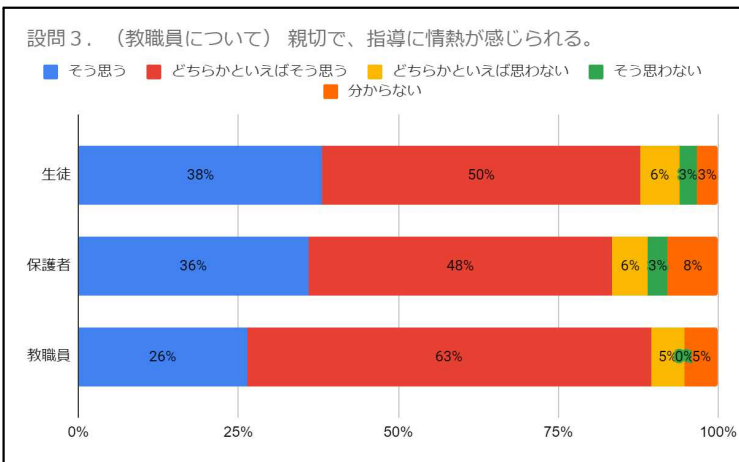
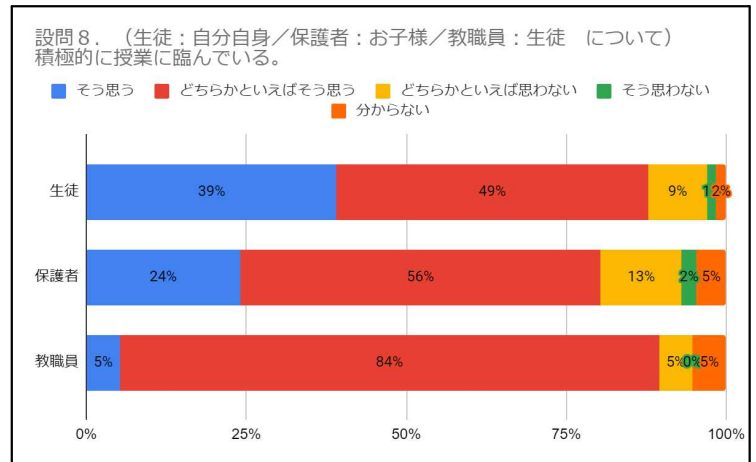
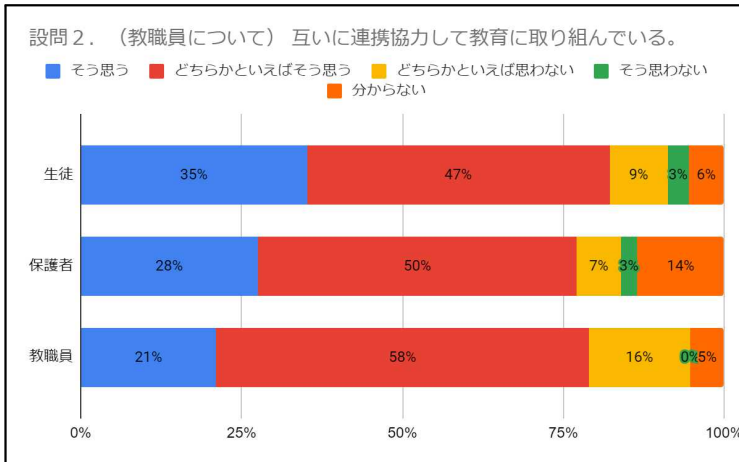
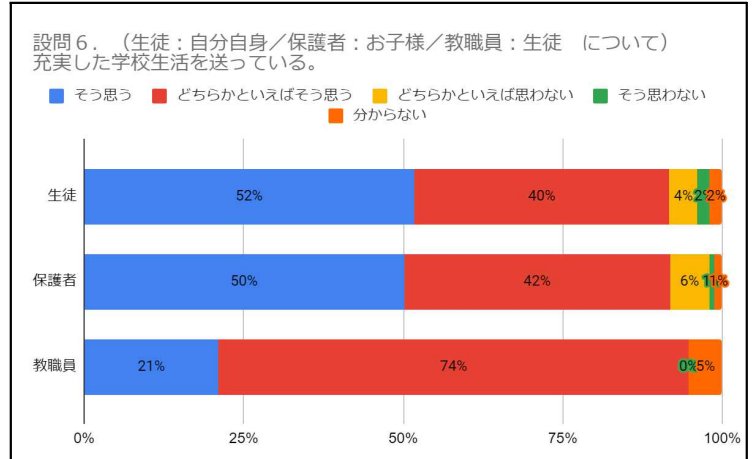
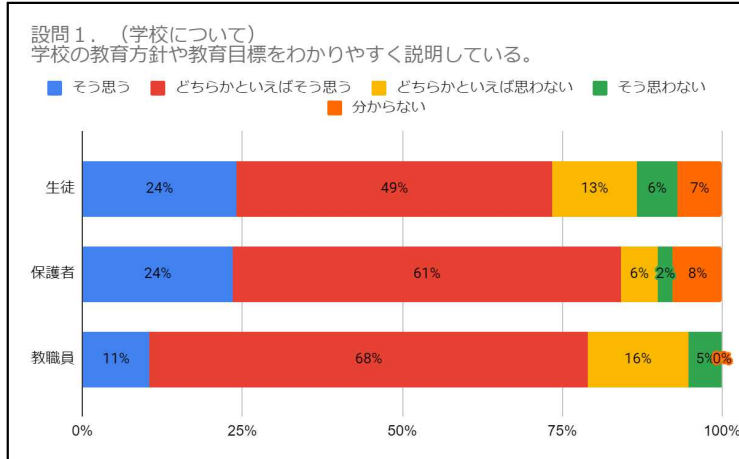
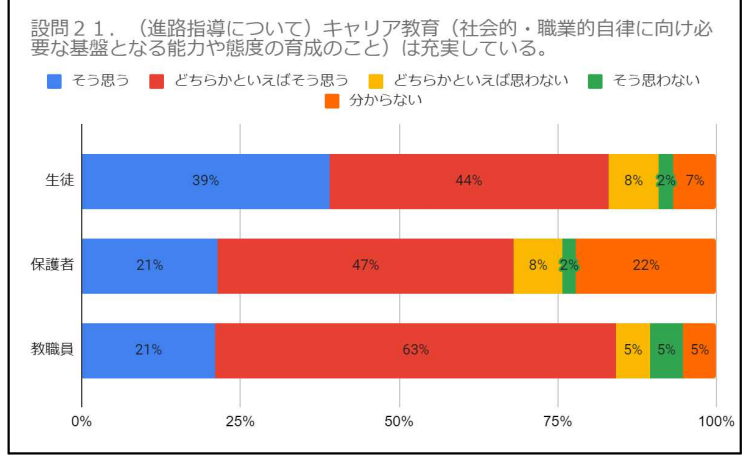
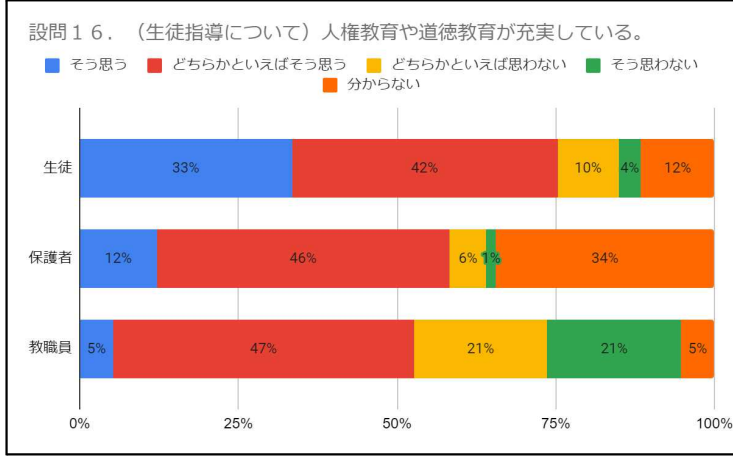
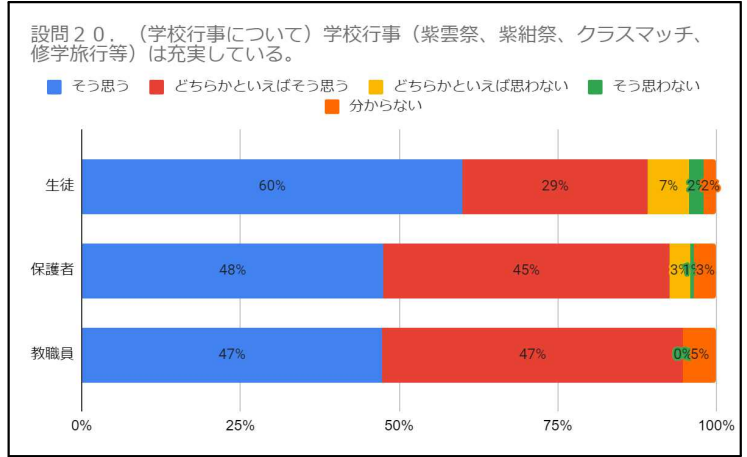
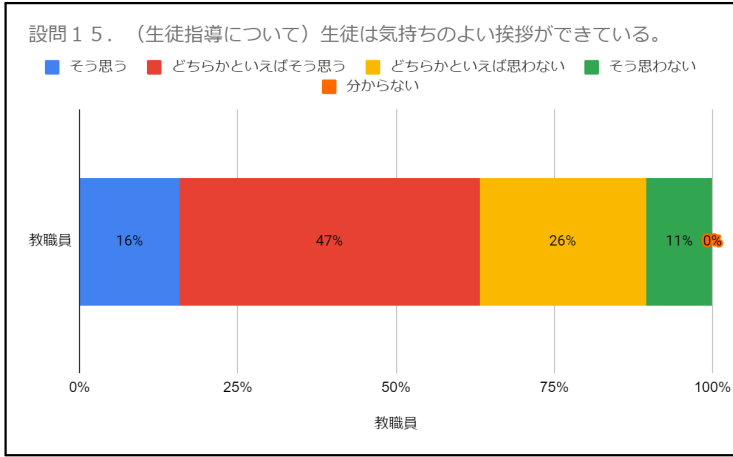
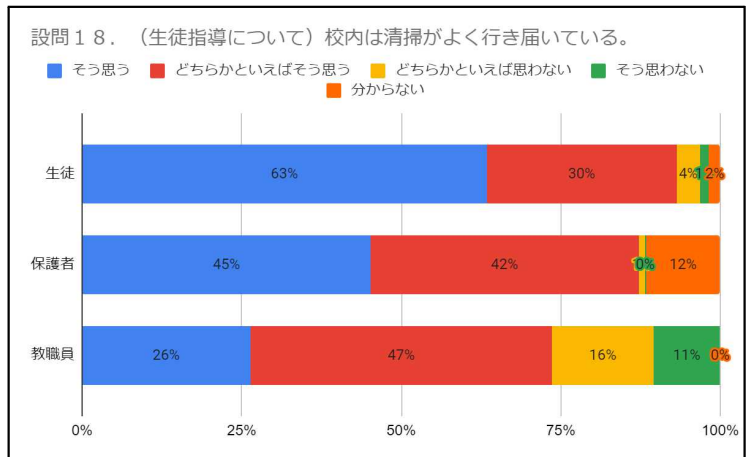
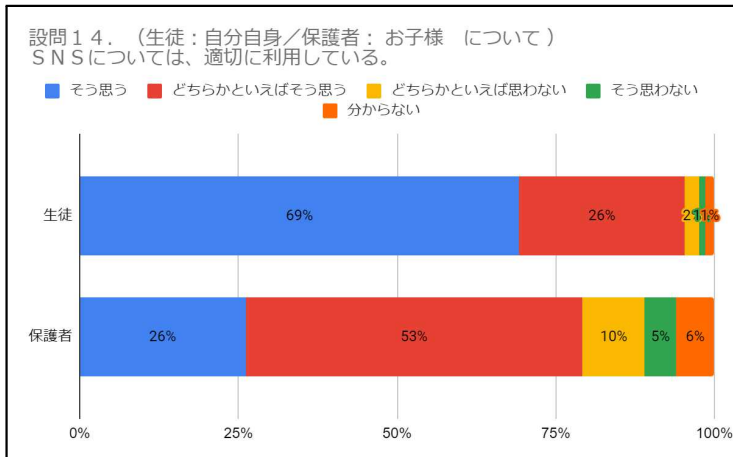
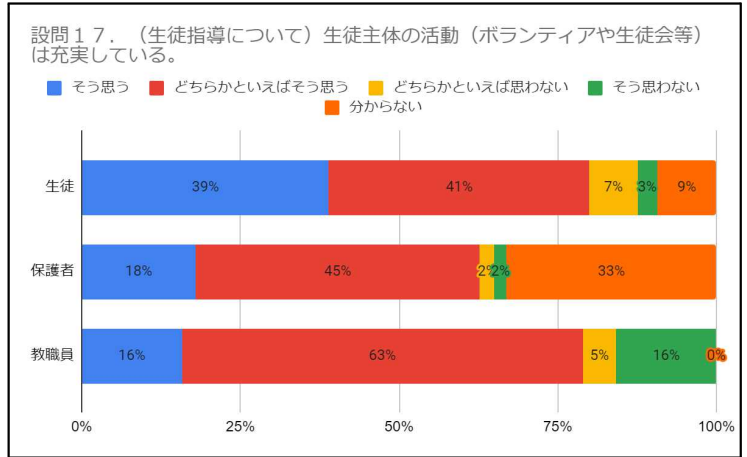
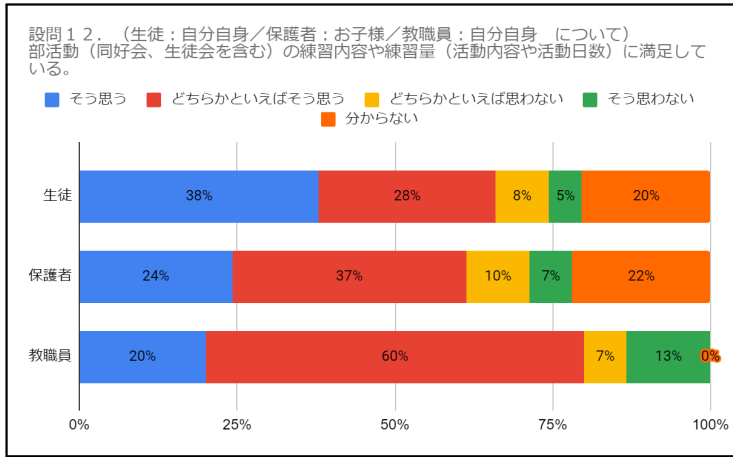
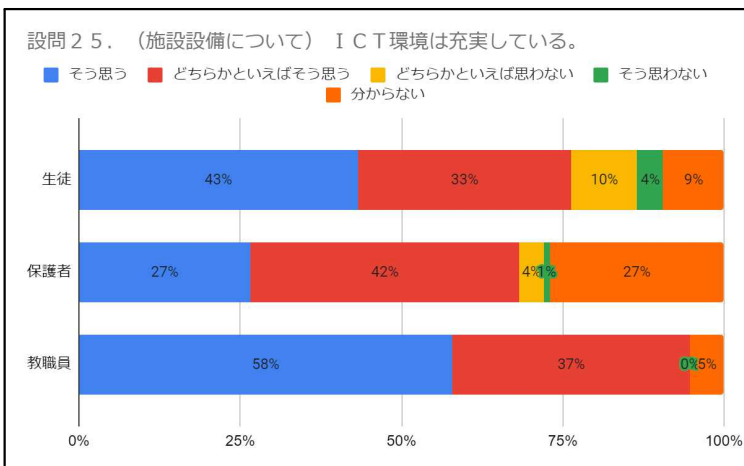
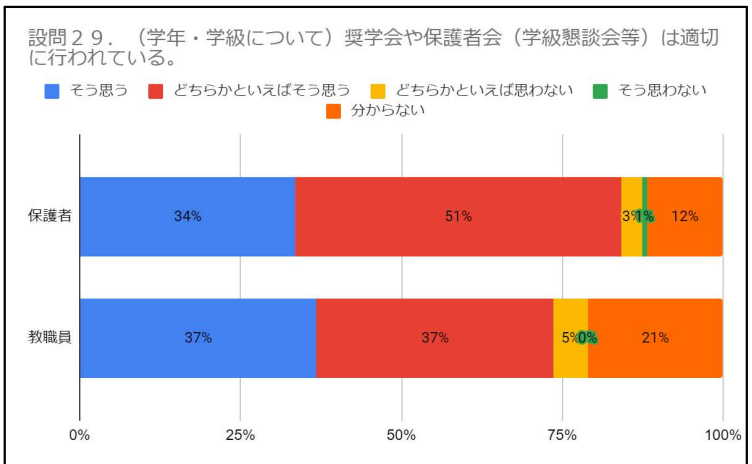
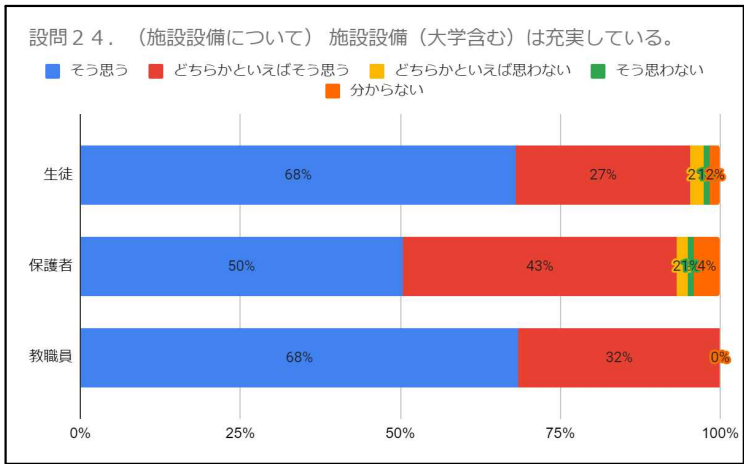
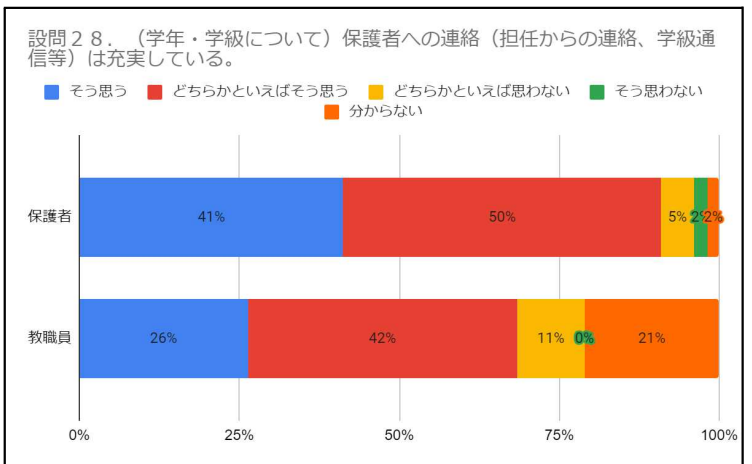
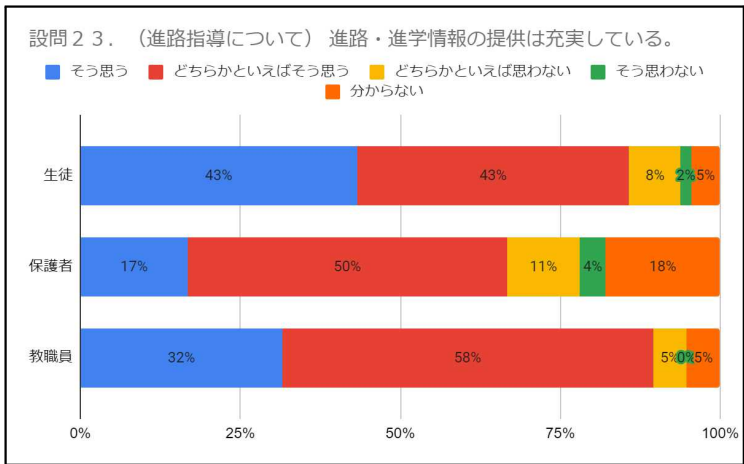
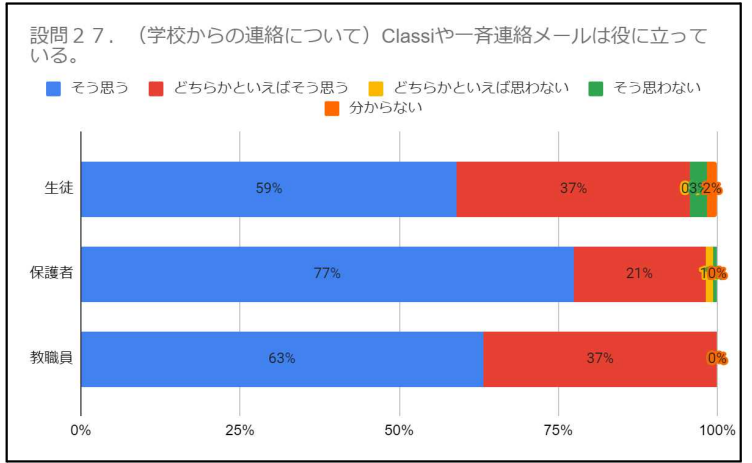
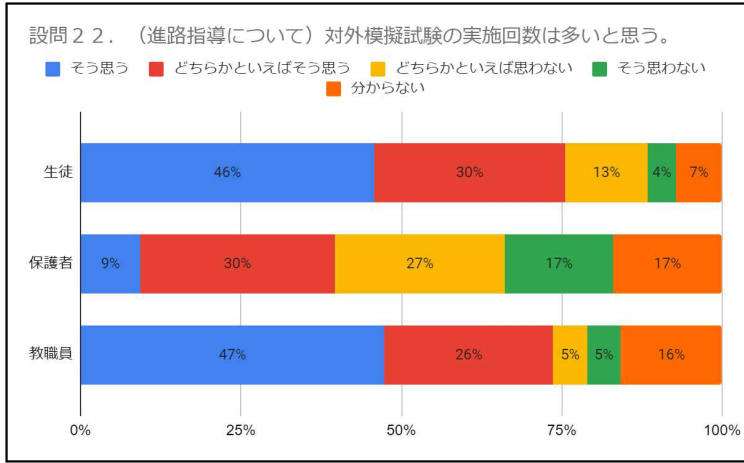


令和5年度学校評価アンケート 集計結果一覧

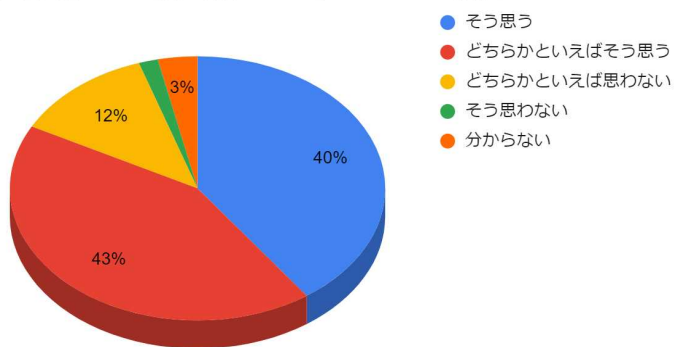




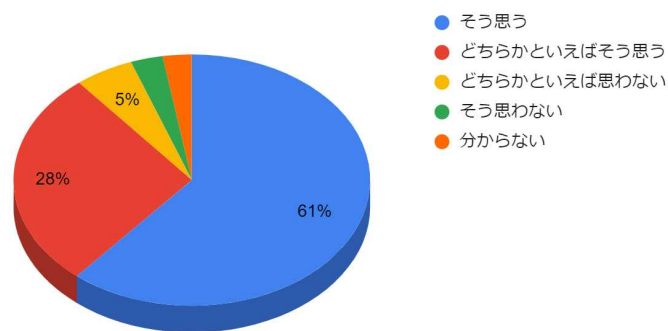


生徒対象設問

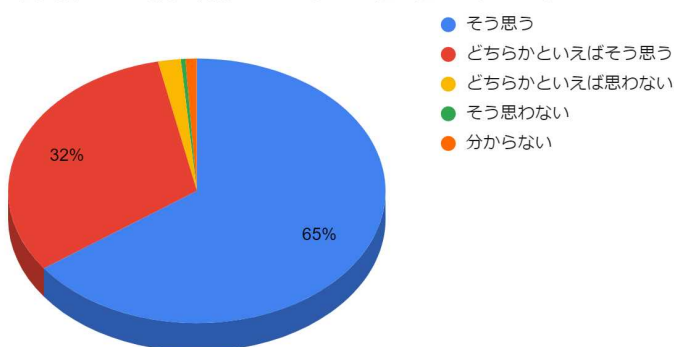
(生徒) 設問 1. (自分自身について) 気持ちのよい挨拶ができています。



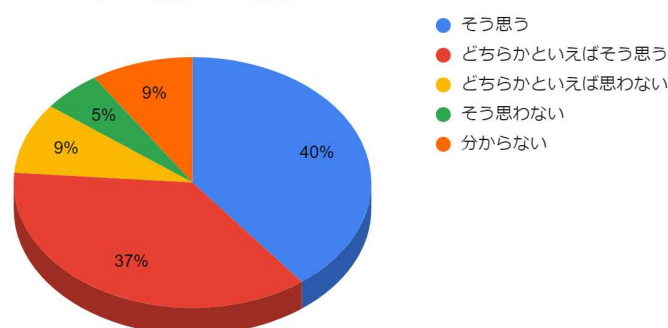
(生徒) 設問 5. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる友人や先輩、後輩がいる。



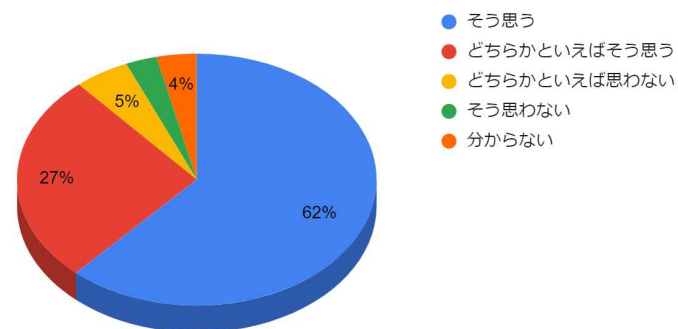
(生徒) 設問 2. (自分自身について) 交通ルールやマナーを守っている。



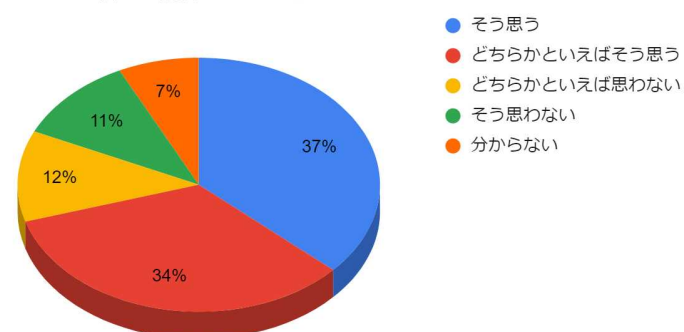
(生徒) 設問 6. (学校について) 困ったことや悩みを相談できる環境が整っている。



(生徒) 設問 3. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる家族がいる。



(生徒) 設問 4. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる先生がいる。



○評価委員会からのご意見

- ・生徒のちょっとした異変に気づいたり、子ども達としっかり向き合うためには、まず教職員が心身共に健康で働いていることが重要である。
- ・奨学会行事はペーパーレス化が進められていない。この会議も含め、資料については端末にてデータを確認するなど、できることから、紙・インクの節約につなげてほしい。
- ・学校で使用しているClassiのアンケート機能について、夫婦どちらか先に開いた方でしか内容を確認できないのは不便である。できれば、内容は夫婦どちらからでも見られる様なシステムだと有り難い。
- ・対外模試の実施回数について、生徒・保護者・教職員の回答が分かれたが、学年ごとに集計すると、また違った結果を得られたかもしれない。

○学校関係者評価結果を踏まえた、今後の改善方策について

今回の評価に対しても、評価委員の方々から更なる向上を目指すための貴重なご意見を伺うことができた。

本年度は、それまでコロナ禍によって制限されていた教育活動や学校行事等をほぼすべてコロナ禍以前の形に戻し、実施することができた。これからの授業方法の一つとなるよう、動画配信等のシステムを構築することはできたが、文化祭のステージ発表など学校としての一体感の高まりを楽しむような行事に関しては、従前の形式に戻すことができ幸いであった。

開始して5年目を迎えた本校の探究活動「深学科プログラム」もノウハウを含めて生徒たちの間で完全に定着した感がある。開始直後より引きつがれてきた、「Next Nexus」や「Re clothes」といったグループの活動に加えて、新たな取り組みも次々に誕生している。これらを通して生徒たちは、大学などの研究機関、行政機関・企業の方々とつながり、アドバイスをいただき、活動の成果発表を行っている。まさに、社会と接点を持ちつつ、問題解決能力を培い、協働的な学びの実践に努めているのである。

これからも、全人教育による人物養成という本校の教育目標の達成を目指して、前述の深学科プログラムのみならず、授業、学校行事、部活動など様々な教育活動のさらなる充実を図っていきたいと考えている。